

8 高農セ第 197 号
令和 8 年 7 月 13 日

各関係機関長 様

高知県病虫害防除所長

病虫害発生予察情報について
病虫害発生予察注意報第 2 号を送付します。

令和 8 年度病虫害発生予察注意報第 2 号

病虫害名 斑点米カメムシ類

- 1 対象作物 水稻（早期稲）
- 2 発生地域 県内中央部
- 3 発生時期 6 月中旬以降
- 4 発生状況と注意報の根拠
 - 1) 6 月下旬～7 月上旬に実施した県中央部での早期稲のすくい取り調査では、調査ほ場の 88%で斑点米カメムシ類の発生が見られた。1ほ場あたりの捕獲頭数は平年を大きく上回り、中央部で平年の約 2.2 倍と多かった。種別捕獲頭数は、クモヘリカメムシ(写真1)、イネカメムシ(写真2)の順に多かった(表1、図1)。
 - 2) 穂揃期～乳熟期に斑点米カメムシ類の発生が見られるほ場では斑点米被害を生じる恐れがある。また、イネカメムシの発生が多い場合は、出穂期の加害により不稔となる恐れがあるため、注意が必要である。
 - 3) 四国地方の向こう1か月の気象予報(7月9日高松地方气象台発表)では、平均気温は平年と比べ高いと予想されているため、今後、斑点米カメムシ類の増殖や活動に好適な条件が続くと考えられる。
- 5 防除対策
 - 1) 出穂の 10 日後及びその 5～7 日後に防除を実施する。
 - 2) 薬剤については、県の病虫害防除指針(高知県農薬情報システム内に掲載、<https://www.nouyaku-sys.com/noyaku/user/haishinfile/list/kochi>)を参照し、使用時期(収穫前日数)に注意して選定する。防除に当たっては、農薬安全使用の遵守及び周辺農作物等への飛散防止対策を徹底する。

表 1 早期稲における斑点米カメムシ類の発生状況（令和 8 年度）

地域 (調査ほ場数)		ミナミア カメムシ	ホソハリ カメムシ	クモヘリ カメムシ	イネ カメムシ	アカシ カメムシ	その他	合 計	発生 ほ場率
中央部	本年	2.1	5.6	18.9	7.0	0.6	2.6	36.7	88%
(40)	平年	0.7	2.6	6.8	2.0	2.8	1.5	16.4	71%

※数字は 1 ほ場あたりの成幼虫数（捕虫網50回振り）で、端数処理により合計が一致しない場合がある。

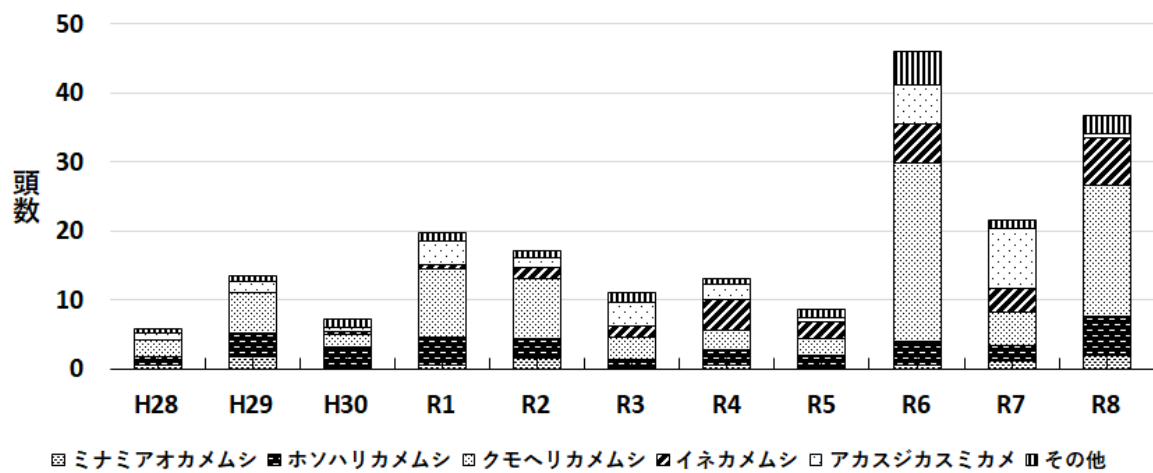


図1 県中央部における早期稲1ほ場あたりの斑点米カメムシ類の種別捕獲頭数の推移
(捕虫網50回振り)



写真1 クモヘリカメムシ成虫



写真2 イネカメムシ成虫

お問合せは、病害虫防除所(TEL：088-863-1132)または環境農業推進課(TEL：088-821-4861)まで